

まちの話題

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係

TEL23-3069

元気なお年寄りが集合 老人クラブ連合大会

(8月22日)

第41回当別町老人クラブ連合大会が総合体育館で開催され、式典では老人クラブ功労者と高齢者健康コンクール優良者表彰が行われました。

午後から開催されたアトラクションではアコーディオンとハーモニカによる懐かしい曲の演奏に合わせ、大きな手拍子が会場に響き、交歓演芸会ではカラオケや舞踊のほか、コミュニティバスを題材にした歌謡コントの披露あり、ステージ上の出演者には来場者から花束やおひねりが手渡され、参加した方々の笑顔がいっぱいの大会でした。



大きな木を認定 蕨岱小学校

(8月22日)



町では、美しく緑豊かなまちづくりを推進しようと「大きな木コンテスト」を実施しています。蕨岱小学校から校庭に大きな木があるという情報が入り、立派な柳の木を確認し、美しい景観委員会で協議した結果、「大きな木」として認定することを決定しました。

全校児童と地域の方が見守る中、認定証が泉町長から講神校長先生へ手渡され、「柳の木のようにしなやかにたくましく生きてほしい」とメッセージが送られました。蕨岱小学校は、来年3月をもって閉校しますが、柳の木は、シンボルとして地域を見守り続けます。

フェンシング 姉弟で全国大会へ！

(8月22日)



町長と教育長に結果報告 (8/22 役場)

7月2日に札幌市で開催された第27回全道少年フェンシング大会で、コーチであるお父さんの指導による練習の成果を発揮し、真田玲奈さん(西当別小・6年)が小学女子の部で優勝、真田涼太くん(同小・2年)が小学男子の部第三位と、姉弟揃って好成績を納めました。

8月12・13日に京都府で開催された第19回全国少年フェンシング大会では、涼太くんが第6位の成績、玲奈さんはベスト16と、ドイツで開催の世界大会の出場まであと一歩に迫るまで勝ち上がりました。

みんなで考えよう地域福祉町民セミナー

(8月6日)



年齢を重ねても安心して暮らせる町にするためにはどのようにして行くといいかを考えようと町が主催して地域福祉町民セミナーを開催し、76人が参加。

講師の北星学園大学社会福祉学部大内高雄教授は、除雪や医療など高齢者が地域で暮らす中で抱える問題を具体的に解説し、「地域が望む福祉を進めていくには、住民懇談会など、まちの人が福祉行政に参加することが必要」と訴えていました。

参加者は、「困っている人を見たら自分ができることがあれば貢献したい」と話していました。

不審者から子どもを守る 防犯講座を開催

(8月10日)



最近地元小中学生に対する不審な行為が増えていることから、児童の安全を守る方法を身に付けようと、町内小中学校の教師を対象に当別小学校で防犯講習会を開催。

不審者がナイフを持って学校に押し入った想定で訓練を行い、講師の北警察署生活第一係堀井警部補から、不審者に対応する時の児童の避難の仕方や先生方の連携の取り方など、実演を交えながらわかりやすい解説がありました。

参加した先生は、「実際に対処するには、日頃から防犯意識を持つ必要がある」と気を引き締めていました。

夏の風物詩 当別神社例大祭

(8月14～16日)



当別神社では、14日から16日までの3日間例大祭を実施。15日の夜には、みこしの夜間渡御を開催し、約100人が2時間に渡って「そいやー」「さー」と大きな掛け声を上げながら町内を練り歩きました。前日の13日には、商工会青年部が主催してビアパーティーが開催され、家族や知り合いなどでテーブルを囲み楽しくビールで乾杯する姿が見られました。

このほかに、子供、大人の盆踊りなども開催され、浴衣を着た家族連れなどが笑顔で当別の夏を楽しんでいました。

地域の元気「ふれあい夏まつり」

(7月29日)



今年で10回目を数える「2006ふれあい夏まつり」が太美スウェーデンプラザを会場に開催。

町内対抗の玉入れなどのゲーム大会、地元のチームの和太鼓演奏、ふとみ元風会などのアトラクションが、来場者を楽しませました。

この夏祭りは、太美地区の7町内会で構成する実行委員会のスタッフ総勢380人の手により企画運営し、子ども縁日や飲食販売を手がけ、地域一体となってつくり上げるイベントになっています。